

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	建築光環境デザイン小委員会	主 査 名：吉澤 望 就任年月：20 11 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：佐土原 聡 主 査 名：古賀 靖子
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・設置目的：建築家を招き、光をテーマにしたシンポジウムを開催する。建築家・研究者・デザイナー・心理学者など様々な立場から討論を行い、光に対する社会的関心を高める。 ・各年度活動計画 2011 年度：第 10 回光環境デザインシンポジウムの開催 (1 月) 2012 年度：第 11 回光環境デザインシンポジウムの開催 (11 月) 2013 年度：第 12 回光環境デザインシンポジウムの開催 (秋予定) 2014 年度：第 13 回光環境デザインシンポジウムの開催 (秋予定) 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：吉澤望(東京理科大学) 幹事：北村薫子(武庫川女子大学) 委員：石井大五(フューチャースケープ建築設計事務所)，内田伸(石川工業高等専門学校)，佐藤勉(駒沢女子大学)，鈴木広隆(神戸大学大学院)，関博紀(東京大学 大学院)，中村芳樹(東京工業大学大学院)，野澤壽江(近田玲子デザイン事務所)，坂東卓(清水建設株式会社)，松下進(松下進建築・照明設計室)，三木 保弘 (国土交通省国土技術政策総合研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料を除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 11 回光環境デザインシンポジウム 参加者数 85 名 (資料名) 第 11 回光環境デザインシンポジウム「藤本壮介が語る光と建築」
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 新進気鋭の建築家・藤本壮介氏を迎えシンポジウムを開催することができた。当初計画のように事前インタビューや作品視察を行い、それらに基づいて有意義な講演・対談となった。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 回を重ねてきたので、新しい企画を加えることも検討したい。

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2012 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>1. 2011年度は、2012年2月27日に、建築家・西沢立衛氏を迎えて第10回光環境デザインシンポジウム(於：東京大学福武ホール)を開催し、実務者を中心に多くの参加を得て盛会であった。シンポジウムに先立ち、小委員会で事前に西沢氏の作品から青森県の十和田市現代美術館の光環境実測調査を行い(12月)、研究者の立場から西沢氏のつくる光について分析・解説した。</p> <p>シンポジウムでは、西沢氏の講演、建築家×研究者の対談のほか、会場の参加者からの質問も多く、設置目的のとおり、実務者や学生など広く社会的関心を高めることができたと考える。</p> <p>2. 2012年度は、2012年11月21日に建築家・藤本壮介氏を迎えて第11回光環境デザインシンポジウム(於：東京大学福武ホール)を開催し、好評を得た。小委員会で事前に藤本氏の事務所にてインタビューを実施し(11月)、作品の紹介や光の設計に関する考え方などの話を伺った。また、いくつかの作品の視察調査や使用者のヒアリング等を行い(10~11月)、シンポジウムに向けて十分に準備を行うことができた。</p> <p>シンポジウムでは、藤本氏の実作の紹介を中心に講演をいただき、建築家×研究者の対談のほか、会場の参加者の質問も受けて設計における光の重要性を語っていただいた。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。